

# やまびこ Yamabiko

2021. 7  
広報誌 No79



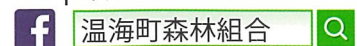
7月15日あつみ保育園年長組13名が  
組合製材工場の見学に訪れました。

## 主なもくじ

- 第56回通常総代会、提出議案、令和2年度事業活動の概況 … 2
- 令和2年度事業部門別損益、損益計算書、貸借対照表 …… 3
- 令和3年度組合運営の基本方針、提案型集約化施業計画 …… 4
- 森の掲示板（ウッドショックと国産材の課題ほか） …… 5
- 新人技能職員の紹介、お願いほか …… 6



**JForest** 温海町森林組合  
<http://shinrin-atsumi.or.jp>



# 第五十六回通常総代会

去る5月28日、温海温泉林業センターを会場に第56回通常総代会が本年度も新型コロナウイルス感染症の防止対策に総代のご理解とご協力の下に開催され、実出席28名、委任出席及び書面議決権行使161名の計189名の出席を得て、提出された8議案全てが承認・可決されました。



## 提出議案



- ◆議案第1号 令和2年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書承認の件
- ◆議案第2号 令和3年度事業計画設定の件
- ◆議案第3号 令和3年度借入金最高限度額決定の件
- ◆議案第4号 令和3年度余剰金預け入れ先金融機関決定の件
- ◆議案第5号 令和3年度一組員に対する貸付金並びに債務保証最高限度決定の件
- ◆議案第6号 令和3年度各種取扱手数料決定の件
- ◆議案第7号 令和3年度役員報酬決定の件
- ◆議案第8号 定款及び附属書森林組合役員選任規程、森林組合総代選挙規程、森林組合林地処分事業実施規程の一部改正の件

## 令和2年度 事業活動の概況



本年度の国内経済は、首都圏等で4月上旬から緊急事態宣言が発出され、県境をまたぐ往来や飲食店等の営業自粛で経済活動が弱まり景気は急激に落ち込みました。その後、緊急経済対策の効果もあり回復の兆しも見られましたが、年末には再び感染者が増加に転じ、感染防止と経済活動の両立が難しい状況となりました。

の活用で「森林整備を促進するため、路網整備による森林施業の効率化や間伐・保育の支援制度を強化する」方針に則し、森林所有者への意向調査や、林道の局部改良、土砂撤去等で路網機能の強化整備が進められました。

当組合の事業は、コロナ禍にあつても組合員事業の推進を優先し、小名部、山五十川、温海川地区で森林経営計画を策定し合意形成を図り、提案型集約化施業による搬出間伐と共に、循環利用が可能な林分については、皆伐・再造林を進め木材生産の増大と持続可能な森林造成に取組みました。

自然災害では、7月に梅雨前線の活発な活動で最上川が氾濫し北村山地域に甚大な被害をもたらす、当地域においても林道等に路面洗掘などの被害が発生しました。被害については、鶴岡市の支援を受け組合の森林整備活動積立金を活用した連携でその災害復旧に努め機能回復を図りました。また、年明けには爆弾低気圧の暴風が庄内沿岸地域を襲い住宅の屋根等が飛ばされる被害が発生し、当組合でも製材工場の外壁や屋根等が破損する被害を受けました。

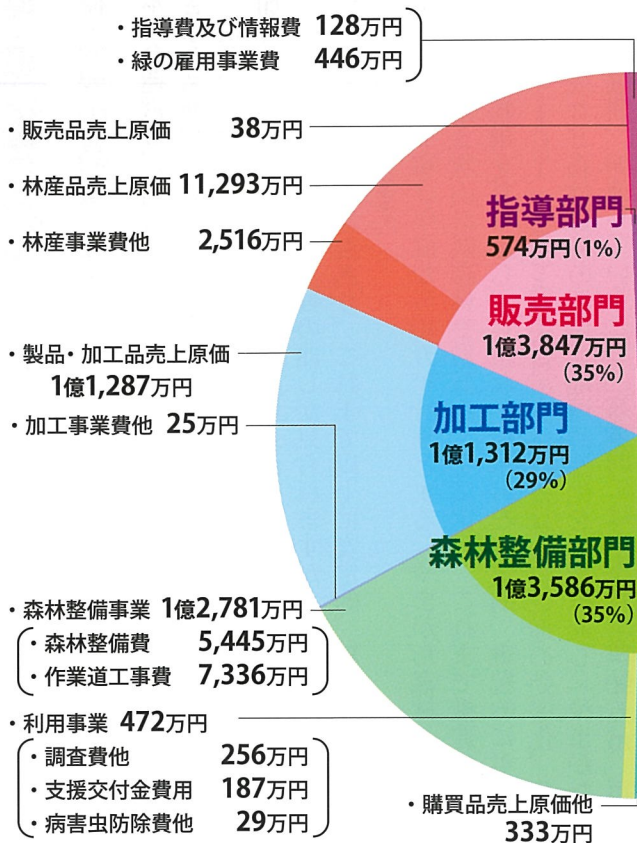
森林・林業の分野では、コロナ禍の影響による住宅産業の停滞で木材需要が落ち込み、特に大型の製材工場では原木の値下げや受け入れ規制が行われ、流通が滞る厳しい状況となりました。このため、山形県では森林組合連合会が県の支援を受け生産された原木を一時的に貯木するストックヤードを県内数ヶ所に整備し、出荷するまでのストック対策が講じられました。

鶴岡市においては、新たに施行された森林経営管理法により交付2年目となった森林環境譲与税

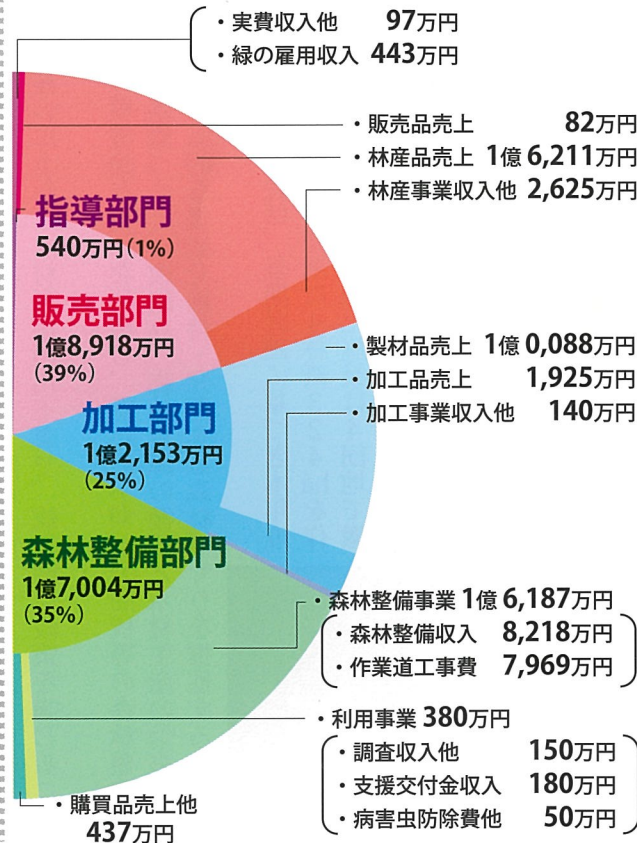
ここに、組合員各位をはじめ、山形県、鶴岡市並びに関係機関のご指導・ご鞭撻に対し衷心より感謝を申し上げる次第です。

## 【令和2年度 事業部門別損益】

### B 事業総費用 3億9,319万円



### A 事業総収益 4億8,615万円



### 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:万円)

科目	内訳	計	科目	内訳	計
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>			<b>流動負債</b>		
1. 現金		12	1. 買掛金		449
2. 預金		28,364	2. 短期借入金		0
3. 受取手形	203		3. 未払金		3,077
4. 売掛金	3,356		4. 未払法人税等		1,484
貸倒引当金	△ 21	3,538	5. 一般預り金		468
5. 未収金	670				
貸倒引当金	△ 2	668			
6. 棚卸資産		900			
7. 前払費用		97			
<b>流動資産合計</b>		<b>33,579</b>	<b>流動負債合計</b>		<b>5,478</b>
<b>固定資産</b>			<b>固定負債</b>		
<b>有形固定資産</b>			1. 退職給付引当金		
1. 建物	2,142			3,786	
2. 構築物	8		2. リース債務	696	
3. 機械装置	120		<b>固定負債合計</b>		<b>4,482</b>
4. 車両運搬具	0				
5. 工器具備品	67				
6. 附属設備	219				
7. 一括償却資産	53				
8. リース資産	512				
9. 土地・森林	979				
<b>有形固定資産合計</b>		<b>4,100</b>			
無形固定資産(電話加入権・リース資産)		134			
<b>外部出資その他資産</b>					
1. 系統出資金	1,099				
2. 系統外出資金	1,014				
3. その他資産	7				
<b>外部出資その他資産合計</b>		<b>2,120</b>			
<b>固定資産合計</b>		<b>6,354</b>			
<b>資産合計</b>		<b>39,933</b>	<b>負債合計</b>		<b>9,960</b>
			<b>純資産の部</b>		
			<b>組合員資本</b>		
			1. 出資金		
			2. 利益剰余金		
			法定準備金		
			任意積立金		
			当期末処分剰余金		
			(1) 当期剰余金		
			(2) 前期繰越剰余金		
			利益剰余金合計		
			3. 資本準備金		
			<b>組合員資本合計</b>		
			<b>純資産合計</b>		
			<b>負債・純資産合計</b>		

### 損益計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

科目	計(万円)
<b>A 事業総収益</b>	<b>4億8,615</b>
<b>B 事業総費用</b>	<b>3億9,319</b>
a 事業総利益 (A - B)	9,296
b 事業管理費	5,700
c 事業利益 (a - b)	3,596
d 事業外損益	39
e 特別損益	104
f 税引前当期利益 (c + d + e)	3,739
g 法人税、住民税額及び事業税	994
h 当期剰余金 (f - g)	2,745
i 前期繰越剰余金	1,048
j 当期末処分剰余金 (h + i)	3,793

### 令和2年度 剰余金処分

摘要	小計(万円)	合計(万円)
I 当期末処分剰余金		<u>3,793</u>
II 剰余金処分額		<u>2,200</u>
1. 法定準備金	1,100	
2. 任意積立金	1,100	
(損失補填積立)	(400)	
(特別積立)	(30)	
(森林整備活動積立)	(270)	
(建築物修繕積立)	(400)	
III 次期繰越剰余金		<u>1,593</u>

## 令和3年度 運営の基本方針

### \*国産材需要の高まりに期待！

今年度の本組合運営は、新型コロナウイルス感染症拡大の第4波が心配される中、経済情勢のさらなる悪化が危惧され、早期のワクチン接種による感染の終息が望まれます。現在、国内の木材需要は、コロナ禍やワクチン接種が進んだ国での需要の増加等により外材価格が高騰し輸入量が減少し国産材への期待の高まりから、製材品、原木ともに価格上昇の兆しが見られますが、需要先からは国産材の安定供給を不安視する声もあり、これまで以上に安定的、継続的な供給体制づくりが求められています。

この様な中、県では令和3年度から10カ年計画とする「やまがた森林ノミクス加速化ビジョン・第3次山形県森林整備計画」を策定し、これまで推進してきた森林資源の循環利用を基本とし、良質な県産木材を安定的、継続的に供給する仕組みづくりやICT導入による木材生産及び森林経営管理の効率化、高度な専門人材の育成など森林資源の活用と地域活性化を一層推進し「やまがた森林ノミクス」を展開、加速していくとし、具体的には、木材生産90万m<sup>3</sup>、再造林率100%、労働生産性10m<sup>3</sup>/人日、JAS製材品出荷量12万m<sup>3</sup>を目標指針に掲げ、原木生産の川上から木材利用の川下まで、総合的な政策を講じることをしています。

鶴岡市でも「森林環境譲与税」を利用し、新たに下刈りや間伐等の森林整備への支援や林道等の基盤づくりに取組み、森林資源の循環と木材生産の効率化を進め、森林の持つ多面的な機能を維持・発揮する森林づくりを推進する計画です。

こうした情勢のもと当組合は、長期計画に基づき本年度森林経営計画を菅野代を含め3団地に4林班324haを作成し、森林所有者に提案して行う集約化施策は4団地で撤出間伐175haと皆伐15ha、受託生産を含む木材生産量は25,000m<sup>3</sup>を目標に取組みます。また、再造林へと繋ぐ資源の循環利用を目的とした「焼畑あつみかぶ」の栽培も引き続き行い、国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の一つにある「緑の豊かさを守ろう」にてらし、持続可能な林業経営を目指します。さらに公的機関事業の受注が見込めるやまがた森林と緑の推進機構（旧林業公



## 令和3年度 提案型集約化施策(撤出間伐・皆伐・再造林)の計画

団地名	撤出間伐計画			皆伐・再造林計画			備考
	面積	撤出材積	作業道開設	皆伐面積	生産材積	再造林面積	
早田戸ノ浦	令和2年度～継続(60.0ha)			済	済	4.0ha	焼畑あつみかぶ栽培再造林1.0ha
五十川安土	50.0ha	5,000m <sup>3</sup>	7,000m	-	-	-	
菅野代早稲田	40.0ha	4,000m <sup>3</sup>	5,000m	5.0ha	3,500m <sup>3</sup>	5.0ha	
楨代長沢	25.0ha	2,500m <sup>3</sup>	3,500m	5.0ha	3,500m <sup>3</sup>	5.0ha	

※今年度大岩川家の平団地を計画しておりましたが、都合により来年度に延期となりました。

### 提案型集約化施策とは

組合からまとまった山の複数の森林所有に対して、間伐などの森林整備作業を提案し、同意を得てまとめること(集約化)で効率的に作業道をつけたり、高性能林業機械を入れ作業をすることができます。これにより、低コストに木材生産をすることができ収益性が上がり、所有者への利益還元につながります。



社)における撤出間伐施策や鶴岡市による生活環境保全林の保育及び松くい虫防除事業等の確保に努め、組合員事業と一体的な森林整備に取組むとともに、工事支障木伐採工事等の委託にも対応するなど、組合経営の安定化を図ります。また、各地域において組合員が協同して行う林道等の草刈りや敷砂利などの維持・管理作業への支援や林内路網等に多発する豪雨災害の復旧などを目的として「森林整備活動積立金」については、地域への効果的な運用に努めます。これら計画達成には、本年度もコロナ禍が続く不透明な経済情勢での組合運営となりますが、全役職員がこの状況を認識して危機感を持って取組み、目標を共有し計画の達成に努力いたします。

# 森の掲示板

## ウッドショックと国産材の課題

最近報道などで「ウッドショック」という言葉をよく耳にしますが、これは輸入木材価格の高騰を指し、かつてのオイルショックになぞら



刃削作業が続く 集成材工場

えた言葉です。現状では輸入材に60%以上を依存する日本は、世界的な需要の高まりで市場価格が高騰し、もはや従来の価格では輸入できない状況となっているものです。

この要因は、米国での活発な住宅着工や中国での木材需要の増大、さらにコロナ禍の物流事情による海上輸送運賃の上昇などですが、国産材に関しては別の問題も見えています。

日本は木材の輸入大国であり森林資源大国でもあります。森林は国土の67%（2506万ha）を占め、現在その森林資源の蓄積量は76億mもある計算になります。これだけ資源がありながら、これまでの木材価格の低迷や地方の過疎化、高齢化などが林業の労働力不足、山主から伐採業者、製材業者、ハウスメーカーの川上から川下までの連携ができて

いないなどで、供給体制の遅れを招き輸入材に依存する状況をつくり、急激な需要に対する供給体制が弱く、危急の際も安定した供給ができないことにあり、先行きが不透明で山元まで価格の高騰が届いていないのが現状です。

今後も世界的に木材の需要は増加する傾向にあり、森林資源の保護や政策で木材輸入は将来にわたり安定的に確保される状況にはないと思われ、さらにウッドショックを契機に木材価格の高騰が常態化する可能性を取り沙汰されています。また、長期的になれば住宅価格にも大きな影響が出て木材離れを招く恐れもあります。

今回のウッドショックで国産材が見直され、さらにエネルギーとしての活用やCO2吸収源対策で地球温暖化防止の貢献などに対する機運を捉え、コロナ禍を「災い転じて福となす」とすることができると林業・木材業界に問われています。そのため当組合は引き続き提案による計画的な木材生産で需給連携を図り、森林資源の有効活用とともに森林整備による森林機能の強化に取り組ま



ミナ材の出荷

## 林業の地域活動への支援を強化

組合では利益剰余金の一部を積立し、組合員が協同して行う林内路網の草刈りや敷砂利、災害復旧などの地域活動に対し「森林整備活動積立金」を創設し組合独自の支援を行っております。これまで年200万円の積立金を活用してまいりましたが、近年増加傾向にある大雨等による災害復旧への対応や敷砂利等の路網整備を拡充するため今年度の積立金は300万円として支援を行うこととしました。各地域においては、この積立金の効果的な活用により林内路網等の維持管理に努めていただき、地域の林業振興と活性化につなげていただければと願っています。



路盤排水横断工の設置

## 次代を担う子ども達へ 森林環境学習の取組み

近年、異常気象によるカーボンニュートラルなどへの取り組みで環境意識が高まり森林が果たす役割に注目が集まっています。組合では管内小学校で実施する森林環境学習に対



森林学習体験

し市の温海庁舎担当課と連携しその指導に取組んでいます。実際に森林に入り伐採体験やネイチャーゲームを通じて森林の役割や大切さを伝えられています。7月1日には地区外から朝陽第六小学校の3年生約100人が組合の伐採現場を訪れ、初めて見る伐倒の様子や高性能林業機械（プロセッサ）を見て驚きの声を上げていました。



朝陽第6小学校3年生

## 焼畑あつみかぶ栽培を取り入れた 資源の循環利用の継続!

当組合は提案して行った皆伐跡地を借り受け、地域の伝統野菜「焼畑あつみかぶ」栽培に活用し再造林につなげる資源の循環利用に取組んでおり、今年度で6年目を迎えます。今年度の圃場は、小岩川地内で本年冬季に伐採した内約1haを借り受け、8月下旬に山焼きを行い、収穫は10月初旬から降雪時まで行う予定です。15t以上の収穫量を目指します。今年も再造林は11月下旬ころに実施し次世代へつなぐ森づくりに努めます。

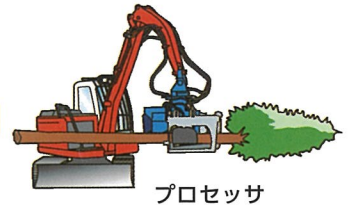


焼畑予定地

# 温海町森林組合

## 令和3年度 組織構成図

住所 〒999-7123  
 鶴岡市大岩川字木揚場 8番地  
 TEL (0235)43-2313  
 FAX (0235)43-2317  
 E-mail atsumisk@amber.plala.or.jp  
 URL http://www.shinrin-atsumi.or.jp



組合員(1,547人)

総代(200人)

理事会(9人)

監事会(3人)

代表理事組合長 五十嵐正直 (非常勤)

代表理事専務 鈴木伸之助 (常勤)

林業推進委員(31人)

運輸班

主任 野尻貴也

事業班

- 生産整備班 9人
- 森林整備班 4人
- 森林土木班 1人
- 加工班 6人

管理課

課長 五十嵐 雅 樹  
 主事(管理担当) 下本 緑  
 事業アドバイザー 五十嵐 茂 一  
 (アドバイザーは継続雇用の嘱託職員)

事業課

課長 劔 持 喜 哉  
 事業係長 長谷川 義 晃  
 主任(事業総括) 忠 鉢 春 香\*  
 主事補(事業担当) 難 波 伸 太 郎  
 (\*の者は管理課業務を一部兼務)

- ◆ 庶務、企画、会計経理
- ◆ 管理、福利厚生
- ◆ 金融業務
- ◆ 指導業務

- ◆ 林産販売事業 (素材生産及び販売、特殊伐採等)
- ◆ 森林整備事業 (森林整備、搬出間伐、作業道開設、病虫害防除等)
- ◆ 加工事業 (ラミナ製材、製材品販売、看板・土木用資材・木工品等の製造販売)
- ◆ 購買事業 (苗木、林業用機材、生活物資販売、機械修理)

## 新人職員の紹介

令和3年4月1日付で  
 技能職員1名を採用しました



今年3月に山形県立農林大学校  
 (林業経営学科)を卒業し就職しまし  
 ました。学校で学んだことを活かし、組  
 合員や地域のお役に立てるよう頑  
 張ります!

技能職員(小国) 五十嵐 瑠斗(20歳)

## 木材市況 2021. 6月

県森連庄内木材流通センター 単位: m<sup>3</sup> / 円

樹種	長さm	末口径級cm	高値	中値	備考
杉	4.00	36cm上	14,400	12,600	○
		20cm上	14,400	12,600	△
		14~18cm	14,040	11,880	△
//	3.65	20cm上	13,700	12,600	△
		14~18cm	12,960	11,520	△
//	3.00	20cm上	13,320	12,240	○
		16~18cm	—	—	—

※備考欄の○高・○保合・△安は前月比

## 軽トラ林業 『2m原木の現金買取(工場持込)』

長さ	末口径	1本単価
2m	14 cm	150 円
2m	16 cm	200 円
2m	18 cm	450 円
2m	20 cm	560 円
2m	22 cm	670 円
2m	24 cm	800 円
2m	26 cm	1,000 円



組合へ、軽トラ等で直接搬入すると現金で  
 その場でお支払いしています。なお、左記  
 以上の径級単価設定もあります。

- 注意
- ・長さ 2m以上+10cmまで
  - ・曲り 矢高5cm以内
  - ・その他 虫害、腐れ、割れ など

## 職員募集中!

森林組合では現在事務職員を募集しています。  
 森林の役割は木材生産だけではなく、二酸化  
 炭素の吸収、水源涵養、災害防止など公益的な  
 機能を有しています。そんな森林の機能を維持、  
 発揮させるための整備を行うのも森林組合の仕  
 事です。

温海地域には先人たちが植えて育ててきた豊  
 富な森林資源があります。この資源を活用し伐  
 採から再生林へのサイクルを確立し、森林保全  
 と循環する森づくりを目指しています!



※詳しくはハローワーク鶴岡へ  
 お問い合わせください。

組合職員概要 (7月1日現在)  
 職員 30人  
 (内期間雇用2人)  
 事務職員7人 技能職員23人

## お願い

### \*組合員資格等の変更届

山林の所有名義や所有面積に移動があった時は、  
 変更の届出をお願いします。

### \*森林の土地を取得したときは届出が必要

山林の売買や相続など面積に問わず全てに必要です。  
 詳しくは、市の林務担当課へお問い合わせください。

編集/発行

**JForest** 温海町森林組合

〒999-7123 山形県鶴岡市大岩川字木揚場8番地  
 TEL (0235) 43-2313 FAX (0235) 43-2317